

接種施設がワクチンを手入手するための方法について

- 医療機関等の接種施設がワクチンを手入手するには、①基本型接種施設としてファイザー社から直送を受ける方法と、②携帯型・サテライト型接種施設として基本型接種施設から小分けを受ける方法がある。
- 高齢者向け優先接種が本格化する4月26日週以降の納品分から、V-SYSを用いて基本型接種施設へのワクチンの分配先の決定作業が本格化するため、以下の方法等に十分ご留意いただきたい。

ファイザー社からの直送

Step 1 事前準備

- (1) V-SYSにログイン
- (2) 接種医師の情報、ディープフリーザーの台数等の基本情報を入力。
<注意1> これらの情報が未入力の場合、ワクチンを希望しても割り当てられない可能性があります。
また、入力された情報（氏名、メールアドレス等）はファイザー社等によるワクチンの最新情報の提供や安全対策に用いられるため、正確な記載をお願いします。
- (3) ファイザー社ワクチンの基本型接種施設にチェック

Step 2 希望量を登録

- (1) V-SYSにログイン
- (2) ワクチンの希望量等を入力。併せて、接種実績も入力。
<注意2> 接種実績が未入力の場合、ワクチンを希望しても割り当てられない可能性があります。（実績0と入力することも可能です。）
携帯型やサテライト型へ小分けしたワクチンの実績は小分け先で入力することとなるので、自施設内での実績を入力ください。

Step 3 納入量・納入時期等の確認

- (1) V-SYSにログイン
- (2) 納入量・納入時期等を確認。
<注意3> 全国の供給量が希望量より少なかった場合は、一部のご希望に沿えない場合がありますので、予め、御了承ください。

基本型から小分け

Step 1 書面での記録

- (1) 基本型接種施設から提供される情報提供シート（医療機関向け手引き 様式7-1）を手入手
- (2) 保管期限を記載の上、保管。

Step 2 V-SYS上で記録

- (1) V-SYSにログイン
- (2) 情報提供シートを参照し、基本型接種施設名、ロット番号、バイアル本数を入力。

Step 3 接種後の対応

- (1) V-SYSにログインし、接種実績を入力。
- (2) 情報提供シートに使用日、使用本数、残りの本数を記載。
- (3) 情報提供シートで「残りの本数」が0になったことをもって、在庫なしの状態となる。

基本型と連携型／サテライト型の設定を変更する時の注意事項

基本型→サテライト型（連携型）、サテライト型（連携型）→基本型の変更条件

以下の場合に、基本型からサテライト型（連携型）への変更、サテライト型（連携型）から基本型への変更が可能

- ① 基本型又はサテライト型（連携型）として登録されていた間に、一度もワクチンの配分を受けていない場合
- ② 配分されたワクチンの在庫がない場合

基本型としてサテライト型（連携型）に小分けする場合

サテライト型（連携型）接種施設に小分けするには以下の対応が必要。

【情報提供シート（様式7-1）の作成】

サテライト型接種施設名、年月日、ロット番号、バイアル本数を情報提供シート（様式7-1）に記載。

【ワクチン分配管理台帳（様式7-2）の作成と保管】

サテライト型接種施設名、年月日、ロット番号、バイアル本数をワクチン分配管理台帳（様式7-2）に記載。

【V-SYSへの情報登録】

小分けした年月日、ロット番号、バイアル本数をV-SYS上に入力。

※ワクチン分配管理台帳（様式7-2）を参照の上、正確に入力ください。

(基本型接種施設記入欄)

基本型接種施設名：-

受け渡したサテライト型接種施設名：-

受け渡した日付：-

令和 年 月 日

超低温冷凍庫から取り出した時刻：-

令和 年 月 日

午前・午後 時 分

受け渡したバイアル数：-

本

受け渡したロット番号（製造番号）：-

(サテライト型接種施設記入欄)

冷蔵保管期限：令和 年 月 日

午前・午後 時 分

(注) 冷蔵保管期限は、左の「超低温冷凍庫から取り出した時刻」に+5日して記入すること。(例：超低温冷凍庫から取り出した時刻が4月1日午前10時の場合、使用期限は4月6日午前10時になる。)

使用日	使用本数	残り本数

様式7-1

(基本型接種施設名：)

受け渡し日	受け渡したサテライト型接種施設名	受け渡したバイアル数	受け渡したロット番号（製造番号）
4月1日	●●病院	20本	XXXXXXXXXXXX

様式7-2

参照の上、記載

連携型・サテライト型が小分けを受けた場合

【融通を受けたタイミング】

基本型接種施設、年月日、ロット番号、バイアル本数をV-SYS上に入力。

※融通を受けた際に基本型接種施設から提供される「ワクチンの管理に使用する情報提供シート」（様式7-1）の左部分を参照の上、正確に入力ください。

【ワクチンを使用するタイミング】

ワクチンの使用日、使用本数、残り本数を情報提供シート（様式7-1）の右部分に記載し、保管。

(基本型接種施設記入欄)

基本型接種施設名：-

受け渡した日付：-

令和 年 月 日

超低温冷凍庫から取り出した時刻：-

令和 年 月 日

午前・午後 時 分

受け渡したバイアル数：-

本

受け渡したロット番号（製造番号）：-

(サテライト型接種施設記入欄)

冷蔵保管期限：令和 年 月 日

午前・午後 時 分

(注) 冷蔵保管期限は、左の「超低温冷凍庫から取り出した時刻」に+5日して記入すること。(例：超低温冷凍庫から取り出した時刻が4月1日午前10時の場合、使用期限は4月6日午前10時になる。)

使用日	使用本数	残り本数

ワクチンの保管期限や使用日などを記載し、3年間保存

参照の上、記載 様式7-1

他施設に移送したワクチン量

譲った日	ロット番号	バイアル本数

本分

+ 報告内容を追加する - 選択した報告内容を削除する

必ず入力

医療機関間の融通を受けた場合

(融通元)の基本型接種施設	受けた日	ロット番号	バイアル本数

本分

+ 報告内容を追加する - 選択した報告内容を削除する

必ず入力

V-SYS上での希望量登録（基本型接種施設のみ）

希望量登録

基本型接種施設は、希望するワクチン量を“箱”単位で登録してください。
ワクチン量を入力すると、針・シリンジ量は必要量が自動計算されます。

対象ワクチン

ファイザー

ワクチン希望量等の報告

		過去の納入実績
	ファイザーワクチン	ファイザーワクチン
標準配送期間	2021/03/26 ~ 2021/04/09	標準接種期間1 2021/02/15 ~ 2021/03/26
標準接種期間	2021/03/25 ~ 2021/04/09	1,950 回分
納入希望量登録	1 1170回接種分 x <input type="text"/> = <input type="text"/> 回接種分	
保管管理	<input checked="" type="radio"/> 冷凍庫 <input type="radio"/> ドライアイス	
接種用 + 希釈用針 (100本/箱)	2 { <input type="text"/> 箱 (<input type="text"/> 回接種分)	
接種用シリンジ (100本/箱)		
希釈用シリンジ (100本/箱)		

必ず入力

- ① 納入希望量を入力
- ② 自動計算された量を変更する場合は、必要数は箱単位で入力

(参考) 非常時におけるファイザーのワクチンの管理について

ファイザー社のワクチンに対する-20℃用ディープフリーザーの活用

-20℃用ディープフリーザーは、モデルナ社のワクチンの管理用を想定しているが、ファイザー社のワクチンについても非常時などで-75℃用ディープフリーザーが使用不可の状況において、ワクチンの廃棄を防止するために活用可能。

⇒ -20℃用ディープフリーザーを、-75℃ディープフリーザーが設置されている基本型接種施設に設置する。

⇒ **令和3年3月15日付け事務連絡『非常時における-20℃冷凍庫の活用に関する調査』を実施。**

想定される非常時のワクチン管理(イメージ)

いずれの場合も、**あらかじめ庫内に設置した超低温対応蓄冷材で保冷** (電源停止後-60℃まで約1.5時間前後、-20℃まで約30時間前後) ※1

回答数：3,044機関/3,222機関 (4月5日時点)

非常用電源

あり
2,495機関/3,044機関

(-20℃冷凍庫なし：1,580機関/2,495機関)

なし：可搬型DFを優先的に配付

549機関/3,044機関

(-20℃可搬型冷凍庫なし：537機関/549機関)

故障・破損等

- ・DF(-20℃)に給電開始(給電開始後-20℃まで1~3時間※2)
- ・冷却完了後、DF(-20℃)にワクチンを移し替え(DFに入りきらないワクチンは別の機関の可搬式DFにより移し替え)

電力喪失

- ・DF(-75℃)に非常用電源より給電
- (必要が生じれば、右の可搬式DFがないときと同様の対応)
- ・停電後、配付した可搬式DF(-20℃)を自動車のシガーソケットから給電し、冷却開始(給電後-20℃まで2時間)。
- ・冷却完了後、可搬式DFにワクチンを移し替え。
- (※DFに入りきらないワクチンは、別の機関の可搬式DFにより移し替え)

※1 機種や外気温により異なる。

※2 機種により異なる。

今後の対応

- 上記調査を踏まえ、「非常用電源なし」かつ「可搬型冷凍庫保有なし」の機関(=最も非常時の対応が必要な機関)に対し、-20℃冷凍庫(可搬式)配付を検討。

超低温冷凍庫の稼働停止が確認された場合、庫内温度を温度ロガー等により速やかに確認し、温度帯に応じた適切な保管に移行し、ワクチンの損失を防ぐこと。

活用イメージ

